

特集

成人の「発達障害」を理解する

訪問看護・介護の場では会う人たちのやりとりで、何か違う、どこかみ合わない、突然態度が変わりその原因がわからない、などのケースに戸惑ったことはありませんか？これまで小児の成長過程の問題とされてきた発達障害は、近年、成人にも存在することが指摘されるようになりました。成人の「発達障害」について知り、適切な関係の持ち方、援助のあり方を考えます。

発達障害とともに生きる人たちの抱える問題

——ケアの専門職による適切な援助のあり方について 堀内桂
広汎性発達障害をともなう処遇困難事例と援助 細川雅人・大熊章夫
成人の発達障害とはどのような障害か

——特徴、職場での現われ方、アプローチの方法 鄭庸勝
成人の発達障害について——社会学の視点から 渡部真
関係がうまく結べない、そのむずかしさをどう解決するか 角田直枝

■特別記事

インタビュー：CDR を用いた認知症の早期発見
——大崎市田尻スキップセンターでの取り組みに迫る

■訪問ほっとらいん

宝物の時間を支えてくれたのは 加藤由美子

■研究報告

介護従事者と法令研鑽——コンプライアンス時代を迎えて 古畑元樹

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／ヒト・モノ・バを
つなぐ認知症ケア 山崎正人／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／わたしのことをわたしから
名取由紀枝／ほんとの出会い 岡田真紀／訪問看護ステーションの現場をあるく 川越博美ほか

編集後記

●今回のマグネットステーションインタビューでは8回目にして初めてヘルパーステーションにお邪魔しました。片山代表が考える「自主的な学習」が行なわれ、「つながり」がしっかり存在するのも、ステーションのもつ安心できる「フィールド」があつてのことなのだろうと考えさせられました。なお、こちらで行なわれている教育に関しては弊誌 13 巻 1 号の特集をご覧ください。さて、3 年にわたる連載となった爽香シリーズも今号にて終了を迎えることとなりました。一筋縄ではいかない様子を見せてきた今回の事件。迎えた結末は。……………富岡
●褥瘡ケアの特集は、健康を維持していくために日ごろの食事がいかに大切なものであるかを再確認させられるものでした。褥瘡ケアに関連して、きらくな家の中里さんの訪問看護に同行させてもらい、訪問看護師が患者さんとご家族に必要とされ、待たれていること、そして行なったケアによって喜ばれていることもよくわかりました。井上一馬氏による特別記事「百歳まで生きるための哲学」では、55 歳からは第 2 の青春、それは大人の青春だそうです。毎日の食事に気をつけて、100 まで生きましようね！が合言葉になりました。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第8号（通巻146号） 2008年8月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，消費税，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

【JCLS】＜（株）日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本紙の無断複写は著作権法上の例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文【JCLS】」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。